

社会資本総合整備計画																事後評価書		
計画の名称	東山公園の魅力向上																	
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度（5年間）															重点配分対象の該当		
交付対象	名古屋市																	
計画の目標	本市を代表する緑の拠点として、自然のすばらしさや大切さを体験・体感できる場所であり、また観光振興の拠点にもなりうるよう魅力向上に取り組みながら東山公園の再整備を行う。																	
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		1,852	A	1,851	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）			0.05	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H28当初）		（H34末）
1	東山公園（有料区域）の年間入園者数を240万人（H28）から270万人（H34）に増加			
	東山公園（有料区域）の年間入園者数を施設の再整備による来園者増を勘案して算出する	240万人／年	万人／年	270万人／年
	東山動植物園（有料区域）の年間入園者数			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
定量的指標の「当初現況値」は平成28年度末の入園者数														

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	名古屋市	直接	名古屋市	-	-	都市公園等事業（東山公園）	用地取得・再整備 2.5ha	名古屋市	■	■	■	■	■	1,851	2.87	-
											小計						1,851		
											合計						1,851		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	名古屋市	直接	名古屋市	-	-	東山公園フォーラムの開催	施設整備に関するフォーラムの開催	名古屋市			■	■	■	1	-	
		整備内容に関連したテーマのフォーラムを開催することにより、入園者へ再整備の目的や概念などを周知し、東山公園への関心を高め、魅力向上につなげる。																	
											小計						1		
											合計						1		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
名古屋市	令和5年10月～11月
	公表の方法
	名古屋市HPにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	レッサーパンダ舎周辺の園路や洋風庭園等の施設整備を順次行い、東山公園の魅力向上させることはできたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、計画期間中の外出制限や、市民等の外出意欲の低下、感染症対策として実施した入園者制限により、目標としていた入園者数270万人に対し、238万人という結果となった。 入園者数については、令和5年12月時点の前年度比をベースに試算すると、令和5年度の入園者は約270万人となり、整備計画の目標値を超える見込みである。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	令和5年度に実施したアンケート調査において、東山動植物園再生プランの再生事業により、「魅力が向上したか」という設問に対し、「魅力が向上していると思う」または「どちらかといえば魅力が向上していると思う」と答えた人の割合は、インターネットを活用した調査では約8割、来園者への調査では約9割となっており、来園者や市民から「魅力が向上している」という高い評価を得ている。

○ 特記事項（今後の方針等）

引き続き、現存する歴史文化的施設や樹木、景観に配慮しつつ、市民により一層楽しんでいただける憩いの場となるよう、再生プランに基づき東山公園の整備や森の保全をすすめていくことで、より多くの市民が東山公園に来園していただけるよう、魅力向上に努める。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	東山動植物園（有料区域）の年間入園者数		
	最 終 目標値	270万人 / 年	新型コロナウイルス感染症の拡大による市民等の外出意欲の低下や、感染症対策として実施した入園者制限が要因と推定される。
	最 終 実績値	238万人 / 年	